

～八木健会長の作品から・・・

串の字は象形文字よおでん食ぶ

文字の始まりは絵で表し現代の文字に変化してきた。
取り残された串の字に脚光を浴びさせてくれたこの句。
句作りは物象に融け込んで作れと教えられたが、
まさに串に成り代り訴えている作者。串からお礼を一言。

男女交際炬燵の中の脚四本

何くわぬ顔の二人が炬燵の中はどうでしょう。
見えない糸で結ばれてもこんがらがっては厄介。
炬燵の脚も二人の脚も四本。差し詰め蛸です。
節電に一役買っているわけ。
コンセント引っこぬいてやりましょう。老婆心乍ら。